

令和2年度 消費・安全対策交付金（食料安全保障確立対策整備交付金）都道府県等成果及び評価
（令和元年度予算繰越分）

都道府県等名：岡山県

| 目的 | 目標 | 目標値及び実績 | | | 事業実施主体 | 設置又は整備した 施設・機器名 | 交付金相当額 (円) <small>(うち地域提案メニュー)</small> | 事後評価 | |
|------------------------|---------|--|--|----------------------------|--------|---|--|---|--|
| | | 目標値 | 実績 | 達成度 | | | | 評価及び指導方針等 | 第三者の意見 |
| Ⅱ 伝染性疾病・病害虫の発生予防・まん延防止 | 家畜衛生の推進 | 施設の活用によるバイオセキュリティの向上率 (目標値) 150% | 施設の活用によるバイオセキュリティの向上率 (実績値) 181% | 120% | 岡山県 | <ul style="list-style-type: none"> ・病性鑑定施設の検査室改修(48㎡) ・キャビネット2台 ・実験台6台 ・シンク2台 ・ルームエアコン3台 ・LED照明一式 ・換気扇 3台 ・キャビネット用換気扇2台 ・ガス(コック)2台 | 9,006,000 | <p>本事業により岡山家畜保健衛生所施設の1室を改修し、豚、いのししの検査室をそれぞれ設置したことにより、バイオセキュリティが向上し、交差汚染等の危険性が減り、検査精度を上げることができただけでなく、1検体あたりの病性鑑定に要する時間の減少につながった。</p> <p>引き続き、当施設を活用し、県内野生いのししの豚熱等浸潤状況を継続的に把握するとともに、豚の豚熱等対策を図り、バイオセキュリティの確保に努めたい。</p> | <p>検査施設における検体管理は重要であり、特に交差汚染を防ぐため畜種別、また豚・野生イノシシに分けて、検査室及び搬入経路並びに搬入窓口を分離することで、検査効率も向上しており、平時におけるリスクマネジメントとしてバイオセキュリティの向上が図れた点は、十分評価できる。</p> |
| 総 計・総合達成度 | | | | 総合達成率 120% 総合評価 A | | | 9,006,000 | | |